

①学習課題（小学校5年生）



【国語】

＜内容＞

◆「なまえつけてよ (P17～P31)」に取り組めます。

①P18～P27を音読し、「1日目」、「2日目」のように、日にちで場面の区切りを確認します。

②P28のノート例を参考に、日にちごとに「春花」と「勇太」の会話や行動を取組シートに書き出します。

③②で抜き出した会話や行動から心情（人物が思ったり感じたりしていること）を想像し、想像したことをお家の人に話したり取組シートにまとめたりします。

◆「図書館を使いこなそう」「漢字の成り立ち」で学習する予定の新出漢字（技～復まで）を取組シートに練習します。（読み方や書き順などは、P285～P286に掲載されています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞

- この単元では、登場人物の心情の変化や関係の変化を考え、感想をまとめていく学習をします。今週学習する部分は、学習の始まるの部分です。お子さんが登場人物について関心をもつきっかけとして、初めて読んだ後に「どんな登場人物が出てきたのかな。」と尋ねたり、登場人物「春花」や「勇太」について感じた印象を聞いたりしてもよいでしょう。
- お子さんが文章中から登場人物の会話や行動を見つけて、取組シートに書き出していくことができるように関わってあげてください。その後、そこから登場人物がどんなことを思ったり考えたりしているか想像したことを聞いてあげたり、ノートにまとめたりする様子を見守ってあげてください。
- 漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように声掛けを行って下さい。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

【社会】

＜内容＞

◆「わたしたちの国土」をもとに、地図を見て世界の様子について次のことを取組シートにまとめます。

- ・（教科書P8～P9）世界の主な大陸や海洋、日本との位置関係について調べ、取組シートにまとめましょう。
- ・（教科書P10～P11）「やってみよう」に取り組みましょう。
- ・地図帳を使って、この他の世界の主な国々と国旗について調べ、取組シートにまとめましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・知っている国名をお子さんと出し合い、知っている理由を考えるなど、お子さんの経験と関連付けて、世界の国々に触れるように声かけをしてください。
- ・新聞などを活用し、記事で紹介された国を地図帳から探したり、記事を切り抜いて、その国について調べたことをまとめたりするなどの学習も考えられます。
- ・「日本の国土はどのような特色があるのかな」と、国土の位置や面積などの情報を捉えて説明できるよう、声掛けをしてください。
- ・白地図に世界の主な大陸や海洋、世界の主な国々の国名を書き込むなどの学習活動も考えられます。

【算数】

＜内容＞ 5年生

①「整数と小数」（教科書P10～14）

- (1) マラソンで走る距離 42.195km と教科書 10 ページの北町子どもマラソンで走る距離（外周 1.45km とグラウンド 0.5km）の数の「5」の違いを考えてみよう。



オリンピックのマラソン
42.195km



北町子どもマラソン
1.95km

42.195km 1.95km


 どちらにも**5**があるけど、
どう違うのかな？

- (2) マラソンで走る距離 42.195km を右のように分けたとき、取組シートに一つの式に表して書いてみよう。



42.195			
40	…10	×	4
2	…1	×	2
0.1	…0.1	×	1
0.09	…0.01	×	9
0.005	…0.001	×	5



位ごとに分けた上の式をもとにして、**1つの式**に表すことはできるかな？

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ①(1)→数を分解して見ることも大切になります。

42 は 40 と 2 に分けられ、「40 は 10 が 4 つ」、「2 は 1 が 2 つ」のように、小数の部分も、整数部分と同じように「位ごとに分けられる」ことをここで感じさせたいです。

- (2)→ $10 \times 4 + 1 \times 2 + 0.1 \times 1 + 0.01 \times 9 + 0.001 \times 5$ のように表すことができます。

※他の数でも同じようにできるか考えさせることが、数の感覚を広げることにつながります。

【理科】

＜内容＞

◆教科書「天気の変化」（P9～P10）を参考にして、4月13日～17日の間、毎日、雲の様子を観察しましょう。

○雲の形や動き、雲の量に注目して、教科書P9を参考に取り組シートに記録します。

○観察した後に、これからの天気を予想します。

＜保護者による関わり方のポイント＞

・雲の形や動き、雲の量に注目して観察するように促し、観察する日による違いに気付くように関わってあげてください。

・雲の様子は、タブレット端末やデジタルカメラ等で記録して、繰り返し観察する方法も考えられます。